

今回訪れたクリニック

厚木胃腸科医院

厚木市妻田南で約半世紀、2代にわたってかかりつけ医として地域を支えるクリニック。内科、消化器内科の外来診療に加えて、在宅療養支援診療所として訪問診療にも注力。さらに、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医である院長を中心に、専門医による胃・大腸の内視鏡検査にも積極的に取り組み、年間で4000件近くの検査を実施している（2018年2月から2019年1月実績）。

厚木市妻田南 1-16-36
☎ 046-223-1155



LINK P000、000

ドクターに
聞きました！

早期段階では自覚症状のない大腸がんですが、大腸内視鏡検査の普及により早期の発見が可能となり、治せる病気になってきたそうです。一方で「痛そう」「準備が大変そう」など、大腸内視鏡検査に対してネガティブな思い込みを持つ人もまだまだ少なくありません。しかし近年では検査機器や技術の進歩によって、昔と比べてもより痛みの少ない検査が可能になっているようです。

気になる医療情報を
徹底取材
検査・治療
レポート

NO. 00

大腸内視鏡検査

痛みの少ない検査で大腸がんを早期発見。当日ポリープ除去も可能

START

実際の流れを紹介

STEP 1



診察で検査の必要性を検討
検査日を予約する

まずは診察にて、病歴、過去の大腸に関する検査結果などを医師が確認し、内視鏡検査の必要性を検討する。検査が必要となれば、検査日を確定、予約を取って説明を受ける。

STEP 2



前日の夜から当日朝にかけて
下剤を飲んで大腸を空にする

前日は消化しにくいものを避ける程度で、特別な食事制限はない。大腸の中を空にするため、前日夜には下剤を2錠、当日の朝には液状の下剤を飲む。やや苦みのあるスポーツドリンクのような味だそう。当日は検査終了後まで食事を控える。

STEP 3



体調や年齢、病歴に合わせて
鎮静剤の注射を受ける

一人ひとりの体調や年齢、病歴などに合わせて調整した、鎮静剤の注射を受ける。鎮静剤を用いることで、痛みや違和感を感じにくくなり、ぼーっとしたり、うとうとしたりするような状態になる。

STEP 4



横になった状態で内視鏡挿入
20～30分の検査を受ける

リラックスした状態で検査開始。大腸を無理に引き伸ばさない軸保持短縮法など、いくつかの挿入方法から患者に合わせた方法を医師が選択する。検査自体は異常がなければ20分程度、ポリープの切除を行っても30分程度で終了する。

STEP 5



1～2時間休息を取った後
検査結果を聞く

検査後は、安静室で1～2時間横になったまま休み、頭がはっきりしたところで結果を聞く。来院から検査が終わって帰るまでの時間は、およそ2～3時間。鎮静剤で足元がふらつくこともあるので、検査後は自動車やバイクの運転は避ける。



新型のカメラを目にし、その細さに驚きました。以前と比べて痛みも違和感も軽減されているというの納得です。前日、当日朝の準備もそこまで大変ではなく、検査が始まればあっという間のこと。想像していたより負担が少なそうです。初期には自覚症状がないという大腸がんを早く見つけるためにも、定期的な検査の必要性を実感しました。

頼れるドクター 確認用原稿

ドクターからのアドバイス

早期に発見すれば、大腸がんはほぼ完治をめざすことができる病気です。しかし、初期段階ではほとんど自覚症状がないため、定期的な内視鏡検査が欠かせないのです。「大腸内視鏡検査は痛い」とネガティブに捉えている方が多いようですが、検査機器や技術の進歩により、近年の検査は昔に比べて痛みやつらさが格段に少なくなっています。ぜひ検査を受けていただきたいと思います。

痛みや苦しさを心配される方は多くいらっしゃいますが、実際に検査を受けた後にはそれほど感じなかったと言われる方がほとんど。ポリープの切除を行うケースも同様です。当院では患者さんの体調に合わせて鎮静剤を用いるので、30分ほどの検査中はうとうとしたり、人によっては寝てしまったりすることもあります。また、当院では痛みの出にくい軸保持短縮法という挿入方法を採用していますので、さらに痛みを感じられる方が少なくなっています。

Q この検査では、どんな病気や症状を発見できますか？
A 大腸がんをはじめ、大腸ポリープ、潰瘍性大腸炎、クローン病、炎症性腸疾患、感染性腸炎、食中毒などの病気や症状を検査により発見できます。大腸内視鏡検査では大腸の内腔をカメラでくまなく観察することができます。

Q 検査の際の痛みや苦しさをどの程度あるのでしょうか？
A 痛みや苦しさを心配される方は多くいらっしゃいますが、実際に検査を受けた後にはそれほど感じなかったと言われる方がほとんど。ポリープの切除を行うケースも同様です。当院では患者さんの体調に合わせて鎮静剤を用いるので、30分ほどの検査中はうとうとしたり、人によっては寝てしまったりすることもあります。また、当院では痛みの出にくい軸保持短縮法という挿入方法を採用していますので、さらに痛みを感じられる方が少なくなっています。

Q 検査を受けるべきタイミングや適切な年齢などはありますか？
A 健康診断で便潜血などを指摘された方は、なるべく早く検査を受けるべきです。下痢や便秘、おなかの張りなどの症状が気になる場合も、一度受診して内視鏡検査の必要性を確認してほしいです。こうした異常がなくても40歳以上なら定期検査を勧めます。また大腸がんや潰瘍性大腸炎などの病歴がある家族のいる方は、35歳くらいで一度検査を受けましょう。

検査 & 治療
にまつわる

Q & A

答えてくれたのはこの方！



厚木胃腸科医院
寒河江 三太郎院長